



3月園だより

令和8年3月2日

目黒区立祐天寺保育園園長

今年度も最後の月となりました。1年間、保育へのご理解とご協力ありがとうございました。

さて、先日0歳クラスで給食の際に、調理士が目の前でリンゴの皮をむいて提供してくれました。みかんの皮をむいてくれたこともあります。子どもたちは食事をしつつ、よく見入っていました。いつもは食べやすい状態で出てくる果物ですが、調理過程を目にすることで、印象が深まったようで、後日ご家庭でリンゴが好きになったとか、「リンゴやったー」と伝えてくれたといったお声をいただきました。食事が人の手を介して、丁寧に提供されている温かみを感じることから、食への興味や大切さを知ることにつながってほしいと考えています。そんな食育の基盤を0歳クラスの子どもたちが感じてくれたように思います。

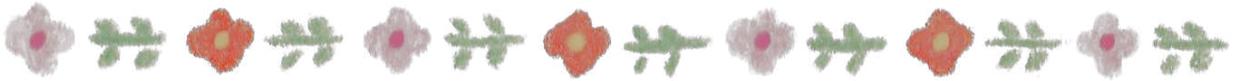


一方、幼児3クラスでは、カレー作りを行いました。野菜の皮むき、ピーラーや包丁の使用と、クラスごとに段階を分けて行い、5歳クラスを中心に鍋を混ぜ煮込んで仕上げます。



最後は5歳クラスの子どもたちがみんなにカレーを配ってくれ、楽しいカレーパーティーになりました。調理に関わること、楽しく食することが、大きく子どもたちの心を動かしてくれます。心も身体も大きく育んでくれる食育でした。

子どもたちは、あと少しで進級、就学を迎えます。楽しく心豊かに過ごしたいと思います。



行事予定

卒園式 5歳児クラス親子
お別れ遠足(3.4.5歳児)
お別れ遠足(5歳児クラス)
お別れ会
中旬 避難訓練、身体計測

クラス移動日のお知らせ

新クラスへの移動する準備を行います。詳細は後日お知らせいたします。

卒園制作の取り組み

卒園制作は何にしようかと皆で話し合うと「友達と一緒に遊べるものがいい」と決まりました。様々なアイデアの中から「かるたなら皆で遊べる」と意見がまとまり『祐天寺保育園のかるた』を制作することにしました。楽しかったことや「保育園にはこんなものがある」と子どもたちが考え、かるたの読み札の言葉を作っていました。保育士が言葉を大きな紙に書いていくとその言葉が増えていくことが嬉しいようで「『つ』・・・あ！月見だんご作ったよね」等、文字から考えていく子も出てきました。言葉が出てくると、次はその言葉に沿った絵を描きます。「ドッジボールの絵、僕描きたい」「ジャムサンドの絵にする」とそれぞれに描きたい言葉を選び、描いたのでとても楽しそうに作業が進んでいきました。きりん組が小学生になった後も保育園のみんなが使えるように・・・と心を込めて製作しました。



1年間の成長した子どもたちの様子

0歳・ちゅうりっぷぐみ

「真似っこ遊び」

人形に子守唄を唄いながら寝かしつけたりミルクを飲ませたりして、いつも自分がしてもらっている身近な生活を再現して保育士と一緒に楽しむことができました。かばんを持って出かけごっこをする等、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じるようになりました。「どうぞ」「ありがとう」「美味しいね」等と子ども同士のやりとりも出てきています。一人ひとりの思いを受け止めて言葉にしていくことで、子どもも自分の思いを言葉や仕草で表すようになりました。この一年で人と関わる喜びが大きく育っています。



1歳・たんぽぽぐみ

「一緒に楽しい」

病院ごっこを始めると「ここが痛いです」と次々に保育士に見せにきます。その後、子どももお医者さんになり「どこが痛いですか」と診察する子や救急隊員になって友達の所に駆けつける子も出てきます。友達に興味を持って同じことをしたり、やりとりを楽しんだりする姿が増えました。自己主張の高まりと共に場所や物を取り合う姿がありますが、思いを受け止め、代弁しながら仲立ちしてきました。

楽しい気持ちを共有する瞬間を重ね友達と一緒に過ごすことを心地良く感じるようになっていきます。



2歳・ひまわりぐみ

「ごっこ遊び大好き！」

お出かけや買い物等、自分が経験したことを再現してごっこ遊びを沢山楽しんできました。今ではお手玉や布等の身近な玩具を身に付けて虫や動物、ヒーローになって、イメージの世界を広げながら何かになりきって遊ぶようになりました。おばけや宇宙人等の空想の世界で何日も続けて遊びを楽しめるようになったことにも成長を感じます。イメージや思いがつながる経験を積み重ねてきました。1人遊びから2人、3人と友達と一緒に遊ぶ楽しさへと変化してきています。これからも遊びを通して深まっていく子どもたちの姿が楽しみです。



3歳・りすぐみ

「一緒に〇〇しよう」

簡単なルールのある遊びを友達と一緒に楽しむ姿が増えました。屋上では「だるまさんころんだしたい」と声が上がり、繰り返し楽しむ中でルールが分かるようになりました。止まる時にポーズをとる子や体が動いて捕まり連なっていると、まだ捕まっていない友達に「助けて」と声をかけたり「〇〇くんが助けてくれるから大丈夫だよ」と言ったりしています。気の合う友達と遊んでいた姿から、少しずつ集団で遊ぶことも楽しくなり「だるまさんしよう」「けいさつ(のどろけい)しよう」と、それぞれ誘い、誘われながら楽しんでいます。



4歳・うさぎぐみ

「蟻の巣」

砂場で友達と穴を掘り、穴が増えると「この穴と穴がつながったらどうなる？」と疑問がわいてきました。「面白いね～」と言いながら皆で掘り進め、穴と穴をつなげました。すると「これは、蟻の巣みたい」「ほんとだ～」と新たな発見になりました。「じゃあ、蟻を連れてこよう」と蟻を探しに走り出す子がいます。「蟻はいない、ダンゴムシがいたよ」と、そこからダンゴムシの家作りに展開していきました。一人の子の探求心がみんなの面白い遊びにつながっています。



5歳・きりんぐみ

「大好きなドッジボールを通じて」

進級した頃はルールが分からなかったり、外野が嫌で泣いたり、ゲームを楽しめるまでに時間がかかりました。ボールの取り合いで喧嘩になると「つまらない」と声上がり、そこから子どもたちが変わってきました。譲ったり、じゃんけんで決めたりして解決するようになり、その姿は他の集団遊びの場面でも見られるようになりました。ドッジボールを通して、ルールを守る、友達と力を合わせる、自分が好きなものに全力で向き合う、を沢山経験した子どもたちです。



<子どものつぶやき>

～日頃の保育の中で交わされたかわいいやりとりを紹介します～

<1歳クラス>

園庭でタイヤを車に見立ててお出かけごっここの時のこと

保育士「スーパーにお買い物に行こうか」

Aさん「Aは、みかん買うの」

Bさん「Bは…スーパーヒーロー！」（ポーズを決めて走り去る）

「スーパー」違いで可愛らしいスーパーヒーローが登場したのです。



<2歳クラス>

屋上から周囲の風景を見ながら

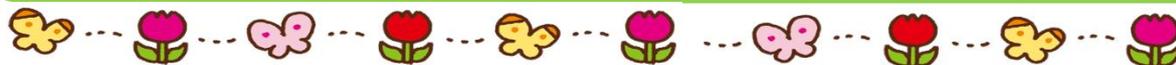
Cさん「あの丸いのピザ屋さんだね」

Dさん「うんそうだね」

保育士「どの丸いの？」

Cさん「あそこだよ あそこ（指さす）」

保育士 「あそこ？・・・ああ！（指の先に中目黒駅方面の丸いタワーがあり）確かに。」



<2歳クラス>

Eさん「Eちゃん、きょう髪むすんできたんだよ」

保育士「そうなんだ～」

「あら、（いつもの結び方と違って）今日はハーフアップなのね、かわいい！」

Eさん「うん、パワーアップだよ！」（と言いながら力持ちポーズ）

可愛くなって、さらにパワーアップもしちゃいました。



<3歳クラス>

髪を切って登園した子に保育士が声をかけた時のこと

保育士「髪、切った？」

Fさん「この前、お医者さんに行った時に髪切ったんだ」

保育士「お医者さん？もしかして、びょういん（美容院）に行ったの？」

Fさん「うん、そう」

びょういん（美容院）を病院だと思っていたようです。

